

# 「浜松ホトニクス社」 見学会報告書

関東支部企画運営ワーキンググループ  
ユークエスト株式会社 土師 義浩



去る7月3日(金)にJASA関東支部の企画として行われた見学会に参加してきました。

当見学会は、先進・先端企業や研究所を訪問することで、会員企業における新規事業のためのヒントを獲得する機会づくりを目的として、関東支部が企画運営を行っているものです。

今回は、浜松ホトニクス株式会社の中央研究所への訪問を最大の目玉とし、浜松市で見学会が開かれることとなりました。当日、天気は生憎の雨模様でしたが、誰一人遅れることなく集合し、バスは定刻より少し早く参加者全員を乗せ最初の目的地に出発しました。

最初の訪問先は、スズキ株式会社が運営する「スズキ歴史館」です。

スズキ株式会社本社建屋の目前にあり、スズキの過去と現在

## ●スズキ株式会社



を語る数多くの製品と自動車製造工程の一部が展示してある、スズキという会社を理解するためにはうってつけの施設という印象を受けました。実際に、同社の新卒採用でもこの施設が会社紹介のために利用されるようです。

見学についての諸注意と案内を受けた後、4Dシアターで自動車の製造工程映像を視聴しました。中々見ることのできない工場内部の映像を3Dの映像で見られるだけでなく、塗装散布のシーンで霧が発生したり、プレスシーンでは椅子が動いたり、五感で体感できる内容に驚きの声をあげる参加者が多くいました。

その後の館内自由見学では、工場で使用されているロボットに興味を持たれる方が多く、使われているセンサの種類やソフトウェアの仕組みなど組込み業界に携わる方々の視点としての会話に花が咲いていました。

昼食をはさみ、向かった先は航空自衛隊の広報館「エアーパーク」です。

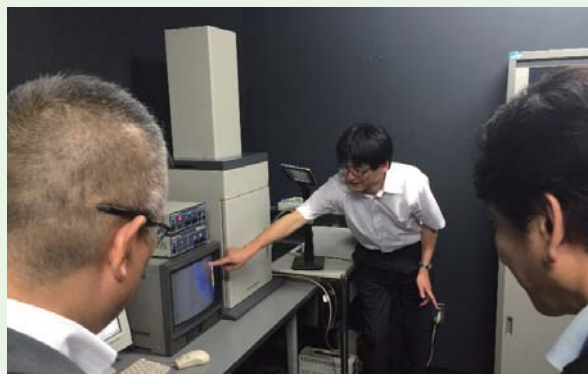
実際の航空機や自衛隊で使用している火器等が展示してあるのに加え、全天周シアターで迫力の映像を視聴でき、フライトシミュレーターで航空機の操縦体験ができるなど追体験要素が多い施設でした。

参加者の方々も非常に楽しみながら見学をされていた印象で、特に航空機のパイロット席に実際に搭乗して写真を撮れる所は行列ができるほどの人気スポットとなっていました。

## ●航空自衛隊広報館「エアーパーク」



●浜松ホトニクス株式会社



最終目的地として、今回の見学会のメインである浜松ホトニクス株式会社の中央研究所を訪問しました。

まずは所長の原様より、浜松ホトニクス社の成り立ちから現在の事業内容の紹介を受けましたが、光を用いた部品や機器製造のほかに、光技術の応用でバイオの分野まで事業を広げているのは個人的に初めて知る事実でした。

浜松ホトニクス社における中央研究所の役割については『会社業績に寄与すると共に、世界中の研究所と競合できる研究を行うこと』という説明があり、この中央研究所での取り組みの中で非常に興味深かったのが、『若手(次世代)プロジェクト』という、10年20年後に会社を支えるものを作り出すための計画についてでした。若手～中堅の技術者が知恵を絞り、既存技術の応用またはそれらに囚われない発想から新しいものを作り出すためのテーマを決めて研究を行うというもので、まさに同社が理念とする「新の価値は金ではない、新しい知識だ」という言葉を体現するような取り組みであると感じました。

説明の後は研究所内の案内があり、各所に展示されたパネルや実際の機器を前にして、光半導体やレーザー技術など各事業内容についての詳しい説明や、装置を使用したデモなどが行われました。参加者の方々も非常に興味深い様子で、時に質問を交えて会話をしながら見学を行っていました。

その後に行われた質疑応答では多方面からの質問が出る中で、前述の若手プロジェクトでの研究テーマについて「一見、まったく光に関連しないようなテーマが出てきた時にはどうするの

か」という質問が飛びましたが、その場合も「最終的には光に結びつけるように様々な側面からテーマを見つめ、検討を行う」とのことで、光産業をリードするカンパニーとしての責任感や強い信念を感じることができました。こうした信念のもと、会社の理念に基づいた取り組みを積極的に行っていく姿勢が、同社の確実な実績成長に繋がっているのだと思います。

最後に、浜松ホトニクス社の前で参加者全員での集合写真を撮り今回の見学会は終了となりました。

普段では見ることのできない場所や物の見学ができたことで、参加者の方々にも刺激が多い、有意義な見学会になったのではないでしょう。

次の見学会はどこでどんなものを見て何を感じられるのか、早くも次回が楽しみになる一日でした。

最後になりますが、浜松ホトニクス社の原所長、渉外担当の大石様、ご説明いただきました高橋様、井上様はじめ皆様にはお忙しいところご対応いただきましたこと感謝いたします。ありがとうございました。